

## イルミネーションと満月



12月の時期、平安橋からもまち通りに向かう道沿いに素敵なお家があります。毎年イルミネーションを飾られている4地区の桑原さんにお話を伺いました。以下、桑原さん談。

『イルミネーションを始めたのは、平成18年に越して間もなくでした。当初は電球の数が少なかったのですが、年々増やしていき現在の様になったのは十数年前からになります。途中3回程飾らない年もありましたが、こんな時だからこそ今年は飾ることができて良かったです。飾りつけの最中に、通りすがりの方が笑顔で声を掛けて下さったり、楽しみにしているとのリクエストやイルミネーションを見て喜んでくれる子供たちの声にやって良かったなあ〜、少しは地域に貢献できているのかな、と嬉しい気持ちになります。』

飾り付けも後片付けも大変なご苦労だと思いますが、私たちの目を楽しませて下さる桑原さんに感謝ですね。来年も楽しみにしています。(安光)

## 子育て地藏尊がきれいになりました

元町通り根本米店横の「子育て地藏尊」の植木の枝が、伸び放題でした。地域のお地藏様であり、そのまましておく訳にも参りませんので、ボランティアの方をお願いし、11月下旬に剪定をしていただきました。おかげさまですっきりと綺麗になりました。ボランティアの方には僅かではありますが、自治会から御礼を差し上げました。

剪定に先立ち、管理者(所有者)の方を探しましたが、残念ながら判明しませんでした。

お地藏様の管理者をご存じの方は、自治会までお知らせくださるようお願いいたします。(石井)



## 野川クリーン活動通信

野川クリーン活動のリーダーの金子幸義です。野川クリーン活動は野川の丸山橋から長谷戸橋までの間の清掃活動を真冬と真夏の期間を除き、毎月実施しております。

ところで、御存知とは思いますが、野川は日立製作所中央研究所の中の水源から二子玉川で多摩川に合流するまでの約20kmの一級河川です。数年前に国分寺から二子玉川まで野川沿いを歩きました。国分寺の野川は住宅街を縫うように流れています。小金井市との境の鞍尾根橋から下流は遊歩道が整備されており、途中、小金井市の前原小学校の周辺と二子玉川周辺の道路が分かりにくい所がありますが、適度に公衆トイレも有り、とても歩きやすい道です。京王線と小田急線が野川と交差していて近くに駅もありますので、途中でやめて引き返すのも簡単です。全行程休憩も入れて約6時間の行程です。足に自信ある方は是非一度トライしてみてください。

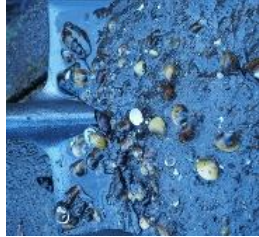
### 10月のそうじ隊



### 魚は後で放流



### 泥の中にしじみとカワニナ



## カワニナと蛍

10月末の掃除で、長谷戸橋の下のコンクリートの護岸に大量のカワニナの死骸を見つけた。大雨で、護岸の上に流され、水が引いて、死んでしまったと思われる。そういえば、もみじ橋と丸山橋の間で、今年の夏に蛍が飛び交っていたと聞いた。この大量のカワニナが自生の蛍の餌になっていたのかと思い、蛍を飼育している成瀬さんに聞いてみた。残念ながら、自然に育った蛍ではなさそうである。以下が成瀬さんの意見でした。(水越)



カワニナの大量死 (5~6カ所の山)

1. 川に土手が続いていると、蛍は産卵しない。コンクリート護岸に一部土が被っているところもあり。もしかしたら、そこに産卵したケースもあるかも知れない。
2. 西元町に野川の近くで蛍を育てている人がいて、今年は網を張らずに開放して飼育していた。その蛍が来たのではないだろうか。

翌日は列車でクラクフまで約三時間、午後はアウシュビッツ強制収容所です。我々も銃殺刑場に花束を捧げ、ご冥福を祈りました。その後、ビルケナウ・ブローアフ等、中世の建物が残る街を観光しながら、国境のエルベ川を越えてドイツのドレスデンに行きました。

哲学者・ゲーテが「エルベのテラス」と称えたエルベ川のテラスを歩いて、翌日ホテル前のドレスデン城の、マイセン焼き物で出来た壁画を鑑賞しました。ライプチヒでは近代音楽の父「バッハ」が眠るトーマス教会に入る。夜にはコンサートホールで「ゲバントハウス管弦楽団」による彼の代表作「ブランドンブルク協奏曲」第五番の演奏会だ。ベルリンではベルリンの壁・サンサーシー宮殿・ブランドンブルグ門・シャルロッテンブルグ宮殿・ベルガモン博物館などを観光しました。

長いと思った十三日間も終わり、成田までの特別機内はワインやビールは自由で、その後夕食が出た。それが饅頭だった。この饅頭の旨さを今でも覚えています。数多く海外旅行に行きましたが、最も思い出に残る旅行でした。

### ショパン生家のピアノ



### アウシュビッツ強制収容所



ピアノの詩人・ショパンとバッハの故郷を訪ねる旅 第六地区 霧生 公明

最近コロナウイルス感染症が蔓延し、外出するのが怖いので何処へも行くこともできません。暇せにパソコンに向かって、海外旅行の思い出を小草紙に作文しています。十年前(2010年)ショパン生誕二百年を記念して、JTBで「ショパンとバッハの足跡を辿るポーランドとドイツの旅」に二人で参加しました。ワルシャワまでは北極圏回り約十二時間の空の旅で、現地時間午後四時着陸しました。空港には民族衣装で着飾った現地の人達が、大勢で歓迎してくれました。

最初の観光はショパンの故郷「ジュエラソヴァ・ヴォラ」でした。林に包まれた広い生家・作曲小屋・当時のピアノ等を見学し、ワルシャワに戻り、ワジェンキ公園を散策後ショパン音楽大学ホールで、幻想即興曲他ピアノ曲八曲のガラコンサートを聴いた。ショパンはパリで、二曲の協奏曲や沢山のピアノ曲を作曲したが、若くして結核を患い三十九歳でこの世を去った。二度と故郷を踏む事が出来なかった彼の心臓は、今も「ワルシャワの聖十字架教会」に眠っているという。

## 編集後記

自治会だよりは、会員向けの重要な情報発信誌ですが、新型コロナウイルス感染が衰えないため行事が次々に中止となり、編集委員会では掲載する記事集めに苦労されていました。それでも発行にこぎつけたのは、編集委員の人達の情報発信への情熱と使命感でしょうか、頭の下がる思いです。新人の私は役に立たず肩身の狭い思いをしました。次は何か貢献しないと・・・。(尾添)



Googleで「東元町一丁目自治会」と入力



URLを入力する

URL: <https://kokubunji-hm.sakura.ne.jp/higashimotomachi/>



スマホでQRコードを読み取る

自治会のホームページに繋がります

一、スマホから繋ぐ

二、URLから繋ぐ

三、Googleから繋ぐ